

あの犬山さんがまさかこんな事をしていたなんて...

犬山さん。

男子トイレの

基本16枚セリフ差分156枚(おまけ含む)

ADULT ONLY

放課後、北校舎3階奥の男子トイレ。

「噂が本当ならここで……」

意を決して扉を開くと

目の前に信じられない光景が

広がっていた。

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

手コキはこれくらいでええかな？

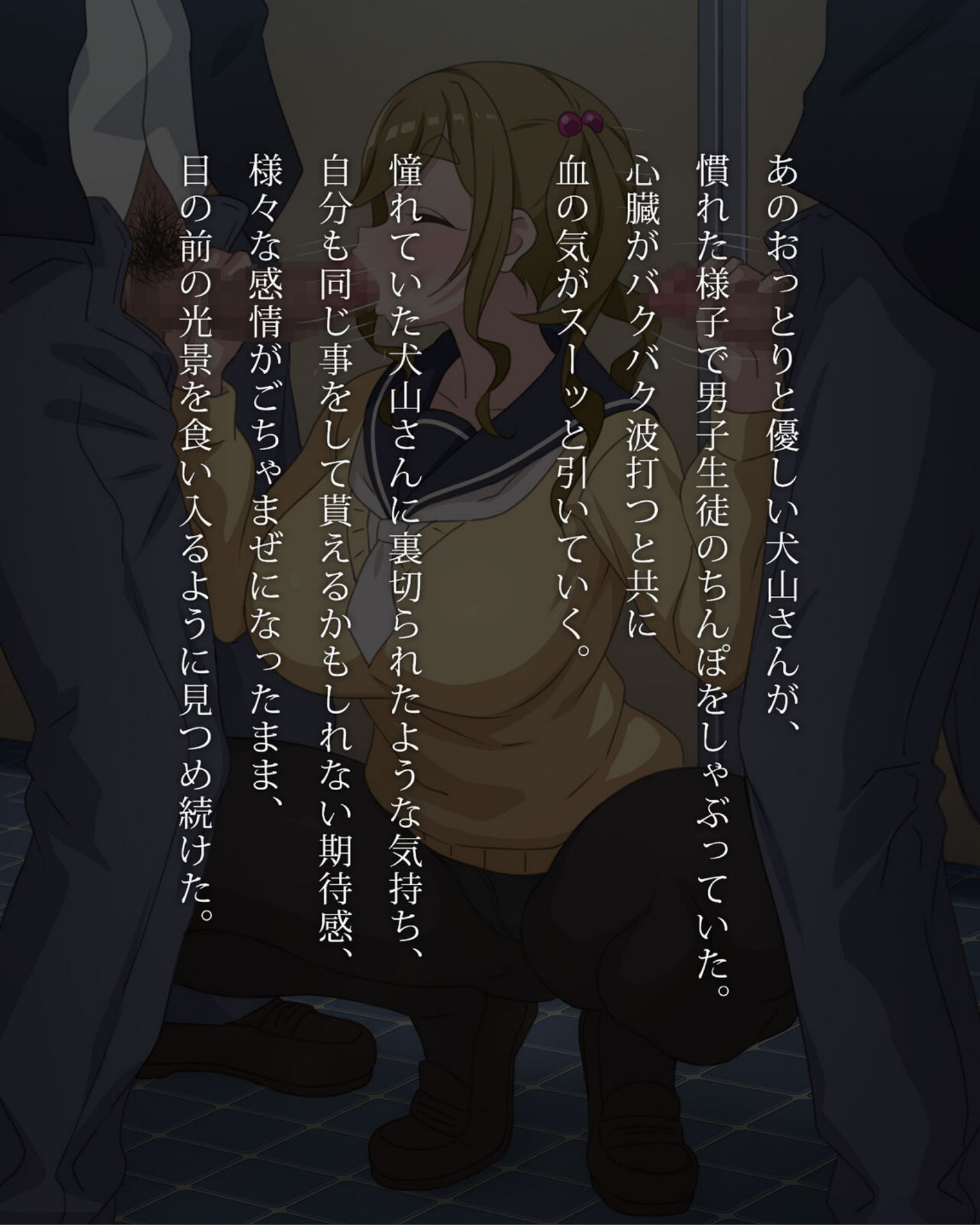
強くして欲しかったら遠慮なく言ってなあ♡

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

びびっ、気持ちええ？こんなに大きいと

おしやぶりするのが大変やわあ♡





あのおっとりとした優しい犬山さんが、

慣れた様子で男子生徒のちんぽをしゃぶっていた。

心臓がバクバク波打つと共に

血の気がスーッと引いていく。

憧れていた犬山さんに裏切られたような気持ち、

自分も同じ事をして貰えるかもしれない期待感、

様々な感情がごちゃ混ぜになつたまま、

目の前の光景を食い入るように見つめ続けた。

…ぷはあ♡ごちそうさまあ♡

二人共いつぱい出したなあ♡お疲れさん♡

今日は延長はええんやね？

じゃあ会計は

また明日に

よろしくなあ♡

今度は二人一緒じゃなく、しっかりお金貯めて

それぞれもつとええことしようなあ♡

待っとるぞっ♡



A young girl with blonde hair, wearing a brown sweater over a dark sailor-style uniform, is crying and hugging two men in dark suits. She has a purple hair tie in her hair. The scene is dimly lit, suggesting an indoor setting at night or in a dark room. The men's faces are partially visible, showing they are embracing her. The girl's expression is one of intense emotion, with tears streaming down her face.

あの犬山さんが本当にこんな事を

していたなんて…

「噂は本当だったんだ…」

思わず言葉が漏れてしまった。

すると、奉仕を終えたばかりの

犬山さんの目がスツとこちらを向いた。

あっ♡○○君やあ♡
キミも来てくれたんやね♡

ちよひん

終わったとっひんなんよ♡

すん用意するから、ちよひんと待ってなあ♡



「○○君は何をして欲しいん？」

「お、おまんこを見せて下さい！」

憧れのクラスメイトのフェラチオ姿を見て混乱したまま出た言葉がこれだった。

内心そこまで噂を信じていなかった童貞の僕には、いきなり直接的な接触を求める心の準備が出来ておらず、その度胸もなかったのである。

「本当に見るだけでええの？」

…ふくん、それじゃあ

ちよっとこっちに来てなあ♥」

犬山さんに
連れられて
個室の一つに
入る。

タイツを脱ぎ
パンツを脱ぎ
彼女は便座に
腰をおろして、
大きく股を広げた。



くぱあ♡

はいどうぞ♡

じっくり見て

なあ♡

笑顔でおまんこ
を広げる犬山
さんを前にして
興奮で頭がどうにか
なりそうだった。



あんまり
可愛いおまんこ
じゃなくて
ごめんなあ♡

少しだけ申し訳
無さそうに、
犬山さんが
謝った。確かに
普段のふわふわとした
彼女からは想像出来ない
赤黒く“リアル”な性器だったが、
そのギャップにたまらなく興奮していた。



ふふっ♡さっきまで
おっきなおちんぽ
しゃぶっとったから
だいぶ濡れとるね♡

確かに犬山さん
のおまんこは
テラテラと
濡れて艶めか
しく光っていた。
むわっと、生々
しい香りが
漂ってくる。



たまらずスポン
を下ろし先程の
フェラチオ姿を
見たときから
痛いほど勃起
し続けたままの
陰茎を取り出す。
スラックスに
まで我慢汁が
滲んでいた。



ふうん、○○君の
おちんちんはそんな感じ
なんやね♡

犬山さんは
少しいじわるく
笑った。

ううん、
別にええんよ♡
包茎の子も沢山
おるし♡
子供みたいで
可愛らしいと
思うわ♡



経験の豊かさを伺わせる
彼女の言葉に嫉妬しつつ
更に興奮した。

たまらず包茎
ちんぽをガシガシ
と扱き始める。
我慢汁で濡れた
皮が擦れて、
グチュグチュ
情けない音が
鳴っている。

そんな乱暴に
扱いたらおちんちん
壊れてしまっ
て♡



うんうん♡
金玉が上がって
きたなあ♡
もう射精しそう
やね♡
ええよ♡そのまま
びゅーっと精液
いっぱい飛ばして
なあ♡

興奮しすぎて、手を緩めることは出来そうもなかった。犬山さんのおまんこを凝視しながら、包茎ちゃんぽを強く握り限界までしごき続ける。

腰が抜けそうに
なるほど今までで
一番気持ちの良い
射精だった。

足をガクガク震わせながら
何度も精液をうち出した。

ほら、ぴゅっぴゅっ
どぴゅっ♡



ふふっ、お疲れさん♡
めっっちゃ飛んだなあ♡
おまんこまでべっとりやあ♡

精液をかけて
しまった場所が
場所だけに
少し不安な顔を
浮かべると…

ああ、
大丈夫大丈夫♡
心配いらへんから
安心してなあ♡



◎◎君は今日が初めてで、
おまんこ見せただけやし
お会計はサービスするわ♡

おまんこ見る
のもええけど、
次はもっと
すごいこと
しようなあ♡

見透かした様に
彼女は笑った。



あの日から、寝ても覚めても犬山さんのオマンコのことを考えている。

思い浮かべて毎日オナニーしたかったが我慢して、我慢して3日たった。

精液は3日で満タンになるらしい。僕は意を決して彼女に話しかけた。

「きよ、今日はセックスさせて下さい！」

「…ええけど、今日はナマの用意してないんよ。ゴムハメでもええ？」

一瞬迷ったが、もう我慢できそうになかった。上ずった声で了承し、あのトイレの個室に2人で入る。彼女に言われるがまま服を脱ぎ、全裸で便座に座った。

ふふっ、もうピンピンちゃん♡
それじゃあゴムつけるで♡♡

そう言うと彼女は慣れた手付きで
コンドームを付けてくれた。



これでよしと♡
あはは、そんなに緊張せん
でも大丈夫やって♡

しどろもどろで犬山さんに
初めてだと伝える。

ああ、やっぱり初めてなんや♡
ふうん、そっかそっか♡
じゃあ今日は私が動くから
きもちよく童貞卒業しよう
なあ♡

彼女はスカートと下着を脱ぎ
事もなげに僕の上に座った。



よいしょっと♡(ぬぷぷ…♡)

すんなりと僕のものが
犬山さんの中に入り
込んだ。

暖かく包み込まれるような感覚、
彼女の体温が感じられて
とても心地よかった。



犬山さんがゆっくりと
腰を動かし始める。

（ぬっちゅっ♡ぬっちゅっ♡）

いやらしい水音をたてながら
ひだがねっとり絡み
ついてくる。

ふふっ♡気持ちええ？
初めてのおまんこ
じっくり楽しんでなあ♡

犬山さんの動きが

少しずつ早くなってくる。

(あちゅっ♡あちゅっ♡)

「あっもう…」

情けない声が漏れる。

ええ、もういきそうなん？

せっかくの初めてやのに

すぐ出したらもったいないで♡



ほら、がまんがまん♡
我慢したらもっと
きもちええで♡

我慢という言葉とは裏腹に
犬山さんはどンドン動きを
激しくしていく。
彼女のおまんこに早く射精しろと
搾り取られるようだった。



数分もしないうちに限界がきた。

「い、イキます!」
(びゅくっ、びゅるっ)

はあい♡ぴゅっぴゅっ♡

犬山さんは我慢の限界を
悟っていたかのように、
腰を深く下ろし、僕のものを
膣でしっかり包み込む。

ふふっ♡

まだピクンピクン出てるわぁ♡

彼女は射精し終わるまで
優しく目を合わせてくれていた。

はあい♡お疲れさん♡
これで童貞卒業やね♡
おめでとう♡

数日前まで憧れのクラスメイト
だった犬山さんの笑顔が前より
なんだか身近に
感じられた。



うんうん、たっぷり出たなあ♡
おまんこで上手にぴゅっぴゅ出来た
証拠やね♡



最初は上手く出来ひん男の子もおるんよ。

◎◎君はしっかり射精出来て

良かったなあ♡

せっかくの初物やし、

これはいただいでおくわ♡



そう言っていると犬山さんはコンドームを
逆さにした。精液がゆっくりと
舌に垂れていく…







(C) EUTAEUTA

煽るように視線を合わせたまま
全部飲みきってしまった。

ゴクゴク♡



（ぷはっ♡）ごちそうさまあ♡

◎◎君の初物ザーメンなかなか美味しかったで♡
それじゃあ、お会計は明日によるしくなあ♡

…早く精液とお金を貯めて
また来ようと強く思った。





今日は念願の生ハメの日だ。

いつもの個室に二人で入ると、

今回は犬山さんが便器に腰を下ろした。

彼女は僕が入れやすいようにか足を抱え上げた。

あの大きな胸が窮屈そうに少し潰れている。

体を丸めたその姿が大型のオナホルルの様に見える

失礼ながらも興奮していた。

今日は生ハメやんなあ？
ぱっちり用意してきたで〜♡
おあおあ、○○くんもはよ脱ぎな？



服を脱ぎ少し皮の被った自分の物を
犬山さんの前に出す。
期待から既にパンパンに勃起していた。

ふふっ♡

もう準備はばっちし…

あっ、最初に皮はむきむきしと…うなあ♡
ほらむきむきい♡



あはっ♡ピンク色で可愛いやん♡
それに…(すうう、すんすん♡)
なんや石鹸の匂いがするで♡
しっかり洗ってきてくれたんやね、
ありがとう♡

包茎やとよく洗ってない
男子もおるんよ。
蒸れたおちんぽの匂いも好きなんやけど、
生の時はやっぱり清潔なのが一番やね♡



おちんちんも剥けたし、
いよいよおまんこやね♡
大丈夫？位置はわかる？

うんうん♡
先っぽをそこに当てて！
そのまま入れてええで♡



うん、しっかり入ったで♡
やっぱり生の方が気持ちええやんなあ？

ゴム越しではない、
犬山さんの生の腔内。
仮性で普段は皮が被っている敏感な亀頭に
ねっとりヒダが絡みついてくる。



それじゃあ動いてええでっ♡
イク時は教えてなあ♡
ふふっ♡○○くんは
ちゃんと腰動かせるんかなあ？
期待しとるでっ♡

犬山さんに少し煽られ
促されるまま腰を振り始める。



腰を振るのは、想像していたより難しかった。

ゆっくろくくんのペースでいらんよ♡
がんばってなあ♡

ほら♡

ぱんぱん♡ぱんぱん♡

ぎこちない動きを察してか
彼女は優しく言ってくれた。



うんうん、その調子やでっ♡
がんばれ♡がんばれ♡

犬山さんに甘やかされるように
応援されながら腰を振り続ける。
へこへこと拙い腰振りだが
僕はとても気持ちよかった。



んっ、だんだんおちんちんが張ってきたで♡
そろそろイキそうやね♡

ええんよ♡
何も気にせんと
そのままぜ〜んぶおまんこに
ぴゅっぴゅしよなあ♡



はあい♡ぴゅっぴゅっ♡

犬山さんと目をあわせてまま
彼女のおまんこに精液を吐き出す
とろとろと蕩けるような感覚に
身を任せ最後まで出し切った。



おつかれさまあ♡
しっかり中出し出来て偉いなあ♡
ほら、こんなに垂れてきたで♡

犬山さんのおまんこから
自分の精液がどろっと垂れてくる。
金銭を介した関係ではあるが、
女性の中に出したという達成感があった。



それじゃあお会計はまた明日に
よろしくなあ♡

念願の生ハメも達成したし、
次はどんなことをさせてもらおうか。
今までAVやエロ漫画の中だけの出来事だった
様々なプレイが頭の中でぐるぐるしていた。



今日はおっぱいでして欲しいんやね？
ええで〜♡おっぱいでいいっばい
ぴゅっぴゅっしよな〜♡
そりゃっ♡(ばばっ)

犬山さんの大きな胸で挟んでもらうと
僕の小さな陰茎はほとんど埋もれてしまった。



ふふっ♡

全部埋もれてしもうたわ♡

あゝごめんごめん、

先っちょの皮が少し見えとるね♡

腫をちよっとならして♡
それじゃあらへっ♡



（ぬっぷ♡ぬっぷ♡）

どうっ？おっぱいは気持ちええ？

犬山さんの唾液で滑りのよくなった
谷間でゆるく包むように擦られる。

刺激自体は強くないが
あの大きな胸で擦られていると思うと
とても興奮した。



ふん？なんだかいつもより余裕そうやね♡
ちよつと本気出すわあ♡

先程より強く絞められた谷間の中で
にゆるんにゆるんと大きく擦られる。

僕のを擦るには十分すぎるほどの
ストロークで搾り取られる様だった。



あれえ〜？もう限界なん？
◎◎君ならもっと頑張れるって♡
ほら♡ほら♡ほら♡イけ♡

本気を出した犬山さんが容赦なく
搾り取ってくる。便座の上で踏ん張り
耐えていたがもう限界だった。



はあい♡ぴゅっぴゅやで♡
おっぱいの中でいっぱい
出してなあ♡

おっぱいの圧力を受けながら
精液がせり上がる。
すぼまった皮の先から勢い良く飛び散った。



お射精おつかれさん♡
ふふっ、いっぱい出たなあ♡
ほら♡谷間にべっとりや♡

おっぱいだけでこんなに出してしもうて、
もう少しおちんちん鍛えなあかんで〜？
それじゃあ、お会計はまた明日によるしくなあ♡



今日はアナルセックスを
させてもらう。
いつもの個室に入ると
犬山さんの
大きなお尻が
眼前に飛び
込んできた。

ほら、お尻の
準備はバッチリやで♡
奥まですっかり綺麗に
なっとるから安心してなあ♡

準備をした影響か、
肛門が湿り気を帯びて
てらてらと光っている。
ぷっくりと膨らんで
艶めかしい
まるで性器の
様な肛門に
僕は思わず
生唾を飲み
込んだ。

ああ、お尻やし別に生で
かまわへんよ♡
私のケツ穴に思う存分
中出ししてなあ♡

(ぬぷぷぷ)

肛門に陰茎の先を
あてがい腰を前に
だすと、すんなり
全部飲み込まれて
しまった。

ふふっ♡

最近はこのちも人気

やから少しゆるく

なっとるかもしれへんわ♡

でもちやーんと

ケツ穴は締めとくから

大丈夫やで♡



(パンパンっパンパンっ)
犬山さんの大きなお尻は
僕の腰振りを
包み込んでくれる
ようだった。

ほら、パンパン♡
パンパン♡ふふっ、
○○君もちょっとは
腰振り上手なって
きたんちゃう？



(パンパンっパンパンっ)
さらに腰を振り続ける。
振動が伝わるたび
お尻や乳房が
震えていた。

うんうん♡上手上手♡
◎◎君のならいつも
出してるもんより
細いし余裕やで♡
遠慮せんと好きに
突いてなあ♡



その通りだが
少し悔しいので
必死になって彼女の
大きなお尻に
腰を打ち付ける。

おー、すごい勢いやね♡
頑張れ頑張れ♡

頑張っても犬山さんは
まだ余裕そうで僕の
腰振りに合わせ
キュウキュウと肛門を
引き締めてくれている。
まるでちんぽが肛門に
優しくあやされている
様だった。



そんな勢いが続くはずもなく
すぐ限界になって
しまった。

え、

もういきそうなん？

ふふっ、ちよっと

腰振りには上手なっても

おちんちんはまだまだ

みたいやね♡

ええよ♡仕上げに

ケツ穴でぎゅーっと

絞ってあげるから

たっぷりぴゅっぴゅ

しようなあ♡



はあい♡ぴゅっぴゅっ♡

んゝ出とる出とる♡
ケツ穴でもしっかり
わかるでゝ♡

うんうん♡
溜まったザーメン
せゝんぶケツ穴に
無駄撃ちしよなゝ♡

犬山さんの肛門に
搾り取られるように
精液を全て吐きだした。



ふふっ♡おつかれさん♡
もうお尻の中が
ぱんぱんやあ♡
ケツ穴から少し垂：

あーあかん、
これ少し動いたら
出てまうわ♡
飛び散らんように
ひり出すから
ちよっとそこ
避けといてなあ♡



ん♡♡
(ぽたぽた♡)
ぽたぽた♡
ぽたぽた♡
ぽたぽた♡
ぽたぽた♡
ぽたぽた♡
ぽたぽた♡

犬山さんの肛門から
下品な音とともに
僕のザーメンが吹き出す。
床にはザーメンの小さい
水たまりが出来ていた。



大丈夫？かかってへん？

いや、恥ずかしい音

聞かれてしまうたね♡

えっ興奮する？

ふふっ◎◎君は

変態さんやね♡

後は私が

片付けとくから、

それじゃあ

また明日

よろしくなあ♡

犬山さんのお尻と肛門の感触、
肛門から精液を吹き出す姿と
音を記憶に焼き付けるように
何度も思い返しながら
家路についた。

いつもの個室の便座に腰を下ろすと、
犬山さんは僕の股の間にしゃがみこんだ。
綺麗な顔の目の前に僕の粗末な物がある。
その対比がとても卑猥に感じた。

今日はフェラチオやんな？
よろし、私のお回で搾りとったるでっ♡



まずはしゃぶる前に

おちんちんさん剥いとこうなあ♡

はあい♡むきむき♡♡

彼女の手で皮を剥かれる。
皮の中にもった臭い
もわっと立ち上った。





たろっ♡すんすん♡

うわ、くっさあゝ♡
さてはおちんちん洗ってきてへんね？
私にくさゝいおちんちん
しゃぶらせたかったん？

しょうがないなあ♡
最近よく来てくれるし特別やで♡



そう言うと犬山さんは流れるように
僕の物を啜えこんだ。
口が窄まり綺麗な顔が下品に歪む。

んっ♡(ちゅぶっ♡)

◎◎君のは啜えやすくて助かるわぁ♡
大きい子やと顎も痛なるし
大変なんよ♡
このままよだれ溜めるから
少し待っとなあ♡



剥きたての敏感な亀頭が
暖かくぬるぬるした犬山さんの
口に包まれている。

心地よさに浸っていると
時折鈴口を舌先で弾かれ
そのたび腰がビクッと動いてしまう。

よろし♡それじゃあらうんぱっ♡



ふふっ♡汚れてる分○○君の
濃い男の子の味が滲み出てくるわぁ♡

汚れごとしっかりしゃぶり取るから
覚悟してなぁ♡



んっ♡んっ♡
（じゅぽっ♡ぢゅぽっ♡んぽっ♡）

卑猥な水音を滴らせながら
吸い付きがどんどん強く早くなっていく



んぶっ♡んぶっ♡

ふふっ♡もうイきさうやね♡

それじゃあ仕上げ♡

（ぽぞっ♡じゅるるるるるるるるっ♡）

精液を吸い出すように吸引されると
僕はたまらず精液を吐き出した。





（おかわりおかわりおかわり）
おかわりおかわりおかわり



んっ♡(ちゅぽんっ♡)

ふふっお疲れさん♡♡
ほら見てえ？こんなに出了でえ♡

それじゃあ○○君のぜーめん
いただきます♡



（れるっ♡れるん♡）
うわくむっちや濃い♡
舌に絡みついてくるわ♡

犬山さんは僕に見せつけるように
口内のザーメンを舌に絡ませる。

(♡♡♡♡♡)
あかん♡ぷりぷりで
なかなか噛み切れへん♡

(♡♡♡♡♡)
ゼリーみたいになっとなし
よく噛まんと♡

ふう〜なんとか飲みこ…

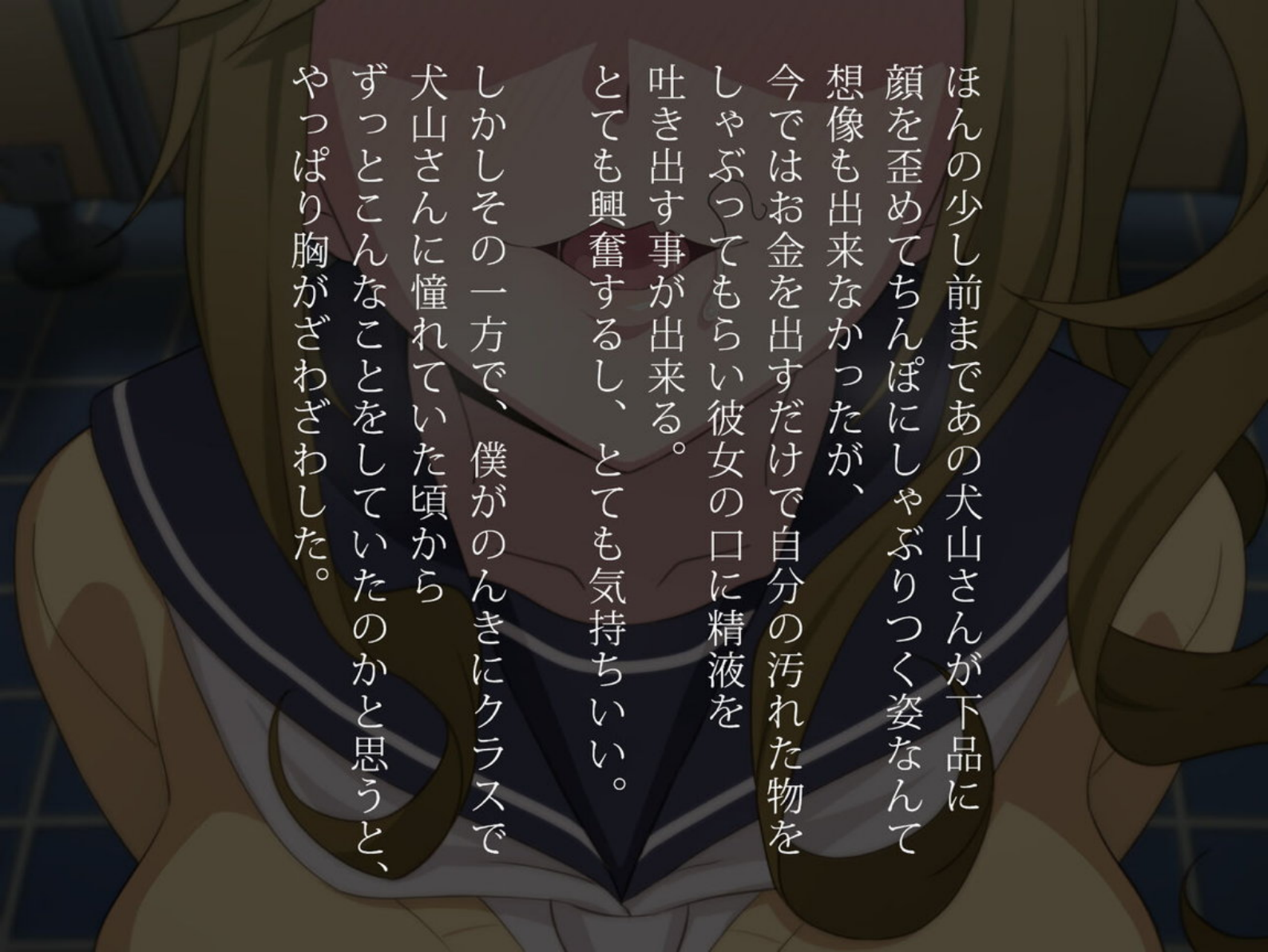


(げえええっぷっ♡)



ふふっ♡○○君のゲーメンむっちゃん
濃かったからげっぶがでてもうたあ♡
美味しいゲーメンやったで
ごちそうさま♡

それじゃあいつも通り
また明日によるしくなあ♡



ほんの少し前まであの犬山さんが下品に
顔を歪めてちんぽにしゃぶりつく姿なんて
想像も出来なかったが、
今ではお金を出すだけで自分の汚れた物を
しゃぶってもらい彼女の口に精液を
吐き出す事が出来る。
とても興奮するし、とても気持ちいい。

しかしその一方で、僕がのんきにクラスで
犬山さんに憧れていた頃から
ずっとこんなことをしていたのかと思うと、
やっぱり胸がざわざわした。



なんでこんなことをしているんだろう。

いつからしていたんだろう。

誰と何人とやっただろう。

聞けば答えてくれるのかもしれないが、

そんな勇氣は無かった。

ちっぽけな嫉妬心をしまい込むように、

憧れのクラスメイトとお金次第で

何でも出来る幸運を噛みしめ、

卒業まで犬山さんの元に何度通うことに

なるんだろうとぼんやり思った。

※注意

これでストーリーは終わりですが、追加で巨根の先輩とセックスしているところを覗くシチュが次の頁から始まります。寝取られ感がありますので、嫌いな方は注意して下さい。

今日は犬山さんに何をしてもらおうか：

予約した時間に例のトイレに行くと

犬山さんが見当たらない。

どうしたんだろうかと思った矢先、

いつもの個室から嬌声が聞こえてきた。

どうやら鍵は閉まっていないうだ。

中で何が起きているのか薄々わかって

いながらも僕は思わず扉を開けてしまった。

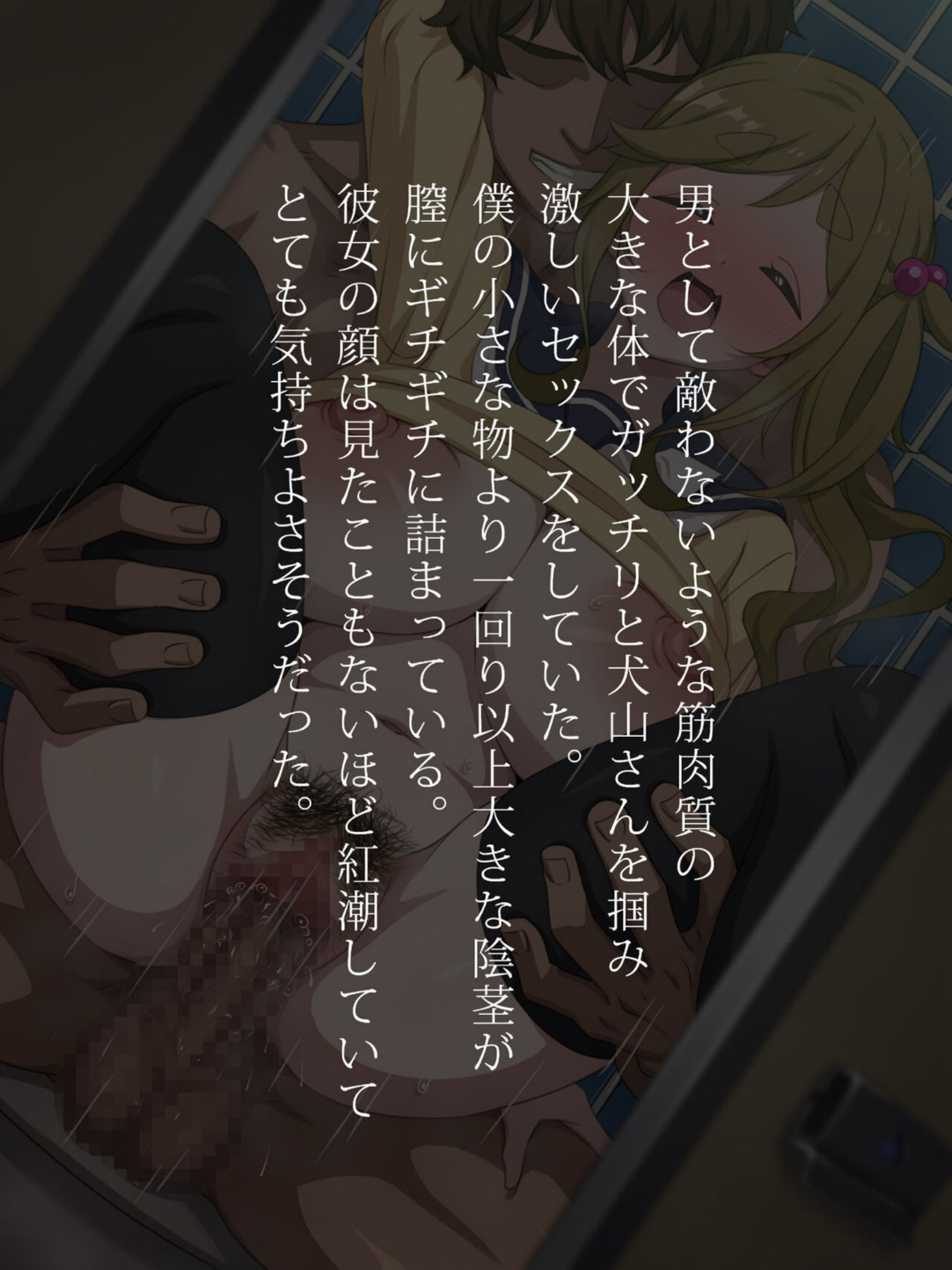
(キィー……)

あっ♡あっ♡

そこっだめっ♡

そこにはやっぱり
犬山さんがいた。
相手はたしか3年の先輩だ。





男として敵わないような筋肉質の
大きな体でガツチリと犬山さんを掴み
激しいセックスをしていた。

僕の小さな物より一回り以上大きな陰茎が
膣にギチギチに詰まっている。

彼女の顔は見たこともないほど紅潮していて
とても気持ちよさそうだった。

もやもやしつつ
眺めていると
すぐに気づかれた。



ええっ!○○君!?

犬山さんは驚き、
声を上げた。
先輩は余裕ありげに
ニヤニヤ笑っている。



あはは…ごめんなあ。

もうそんな時間
やったんやね。

先輩と…その…ちょっと
長引いてしもうてん♡
遅れて悪いんやけど
もうちょっとだけ待って…



取り繕ったように
犬山さんが
話していると、
先輩がまた腰を
振り始めた。

いぎっ♡

せんぱっ♡ちよっ…っ♡

◎◎君が見てるからあ…っ♡



僕のことなどお構いなしに、

…いや。

僕に見せつける様に
先輩はセックスを
再開した。

はっ♡はえっ♡

あかんっ♡あかんってえ♡

次第に犬山さんは先輩との
セックスに集中していく…。



ほっ♡ほっ♡おほっ♡そっ♡きんっ♡

あの犬山さんが
聞いたこともない嬌声を上げ
余裕なく感じている様に
僕の心は激しくかき乱されたが、
目を離すことは出来なかった。



徐々に先輩の動きが激しく
なっていく。
犬山さんの愛液だろうか、
巨大な陰茎にかき混ぜられ
液体が飛び散っている。



はひっ♡はひっ♡おひっ♡

犬山さんは
恍惚とした表情を浮かべ
巨大な陰茎による快樂に
浸っている様だった。
僕ではさせることの出来ない表情に
心はざわついていたが、
目は釘付けになっていた。



へあっ♡へあっ♡はびっ♡

いっ♡いきまふっ♡
いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡

犬山さんは媚びるように甘く
下品な声を上げた。



（おっおっおっおっ）

おっ♡

おほっーっ♡

奥っあっうっ♡

犬山さんの絶頂に合わせた様に
先輩も射精。



ほーっ♡まだでてりゅっ♡

先輩の射精は長く
ギチギチの膣からは
信じられないほどの
精液が溢れていた。



はぁーっ♡はぁーっ♡

長い射精が終わり
膣からずるんと
陰茎が引き抜かれる。
ぽっかりと先輩の
サイズに広がった
穴からはどぶどぶと
大量の精液が流れ出している。

犬山さんは普段の姿から
想像も出来ないような
だらしないアクメ顔を晒していた。



少し落ち着いていたのか犬山さんが話はじめる。

あははあ♡

やっぱり先輩の

おちんぽすぎてすぎやあ♡

めっちゃイッてしもうて

恥ずかしいわあ♡



うっん♡

次の人が来とるんで、

今日はもう堪忍なあ♡

良かったらまた私のおまんこ

使いに来て下さいねえ♡



あっ……○○君。

なんやぞっと

見とったんやねえ♡

ごめんなあ遅れてしもうてえ♡

怠いで用意するからちよっと

待っとなあ♡





結局最後まで犬山さんのセックスを
覗いてしまった：

自己嫌悪と興奮で心の中がぐちゃぐちゃだ。

こんなものを見た後に何してもらえば
いいかなんてまとまりそうに無なかつた。

ただ心のモヤモヤと沸き立った性欲が
体の中をぐるぐる駆け巡っていた。

■おまけ

本編に入りきらなかったシチュを他の生徒視点のような設定で描いた物と、過去に描いたイヌ子のイラストをまとめました。

ほら、おっぱいやで〜♡
おちんちんのごとは私に任せて
思う存分おっぱいに甘えてなあ♡



(うんうん♡おいら♡うんうん♡)

ふふっ♡おいらしら？

遠慮せんとどんどん飲んでなあ♡



だんだんおちんちんも張ってきたでっ♡
このままゆるゆるくしこしこ続けるから
おもらしするみたいに白いおしっこ
ぴゅっしよっなあ♡



はあい♡ぴゅっぴゅっ♡
ええよ♡そのままごんごん
おもらししよなあ♡



うんうん♡

全部おもらし出来た

みたいやね♡

なんや疲れて眠くなったん？

白いおしっこは私が綺麗にしとくから

そのまま眠っても大丈夫やで♡

それじゃあおやすみ♡♡



またケツ穴舐めて欲しいん？
もう…回回くんはそればっか
やね♡





それじゃあさくしゃん♡
（いっ♡ん♡）

（れろっ♡れろっ♡♡♡
ぶぶっ♡♡ケツ穴が私の舌を
きゅっ♡きゅっ♡締めつけて
くるわ♡♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡



（れるるるるるるっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡）
ほらっ腰が引けてんで♡
気持ちええのはわかるけど
しっかりケツだしとき♡

れん♡♡

れん♡

れん♡

れん♡

ワッ

ワッ

ワッ

（れろっれろっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡）
なんやお汁が垂れてきとるで♡
もうびゅっびゅっしてしまっん？
情けないおちんちんやなあ♡

それじゃあこのまま
便器に白のおしっこ
しーしーしよなあ♡

れろ♡
れろ♡

れろ♡
れろ♡

れろ♡
れろ♡





ほら♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
（おまねのおまね）
はいはい♡ちやんと出し切るまで
しっかりと搾るから安心してなあ♡

れん♡♡

れん♡

びしょ

ぽたぽた

びしょ

ぽたぽた

ふふっ♡お疲れさん♡

今日もたっぷり出たなあ♡

こんなお尻使ったおもらしぴゅっぴゅばっかしとったら、

まともな射精出来なくなっても知らんでー♡

まあ、回回くんには

お似合いかもしれへんね♡



またおちんちんの先っぽいじめて欲しいん？
別にええけど、本当にこれ好きやね〜♡

いつも通りお潮吹くまで
やめへんから覚悟してなあ♡



ほら、腰が引けてんで♡

射精もまだなんやから

もうちよつと我慢しろ？

はっ♡

はっ♡

はっ♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡



ぴゅっぴゅっ終わった？

それじゃあこれからが本番やね♡

覚悟はええの？♡

♡BUTABUTA♡BUTABUTA♡

ぶぶっ、ザンメンも
混ぜっしてあげようやね♡
おまんこも擦るたび♡
びゅっびゅっ♡

♡おっ♡

♡おっ♡

♡ん♡

♡ん♡



あっ、こゝら♡逃げるな♡

おちんちんしっかり握っとるがら

逃げられへんで♡ぞろ

自分から頼んどいて

逃げようとするなんて

あかんよ♡お潮吹くまで

絶対にやめへんからね♡



(♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡)

ほら♡がんばれ♡がんばれ♡

んんん

おちんちん辛くて

気持ちええなあ？

いっぱい我慢して

たくさんお潮吹こなあ♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん

んんん



（パンチャーニー）

うわっであ♡

ふふっ、腰ガツクガクで笑えるわ♡

ほ♡ほ♡ほ♡

何もな～んもな～ん

♡～♡ほほほほ♡

ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ



は〜い♡お疲れさん♡

今日もたっぷり吹けたなあ♡

私もびっしょりやあ♡**ウク**

こんだけ吹いたんやから

しっかり水分補給しとくんやあ〜♡

それじゃあさよなら〜♡

どろろ...

モロ

かり

かり



足のニオイが嗅ぎたいん？
おっぱいでもオマンコでも何でも出来るのに
そんながええんや？

まあええい。

ほら(っ)♡(っ)♡(っ)♡



うわ〜ちょっと嗅いただけでピンピンちゃん♡
そんなに足のニオイが気に入ったん？

もう放課後やし
だいぶ蒸れてるのに
変態さんやね♡



もう金玉上がって来とるやん♡
足のニオイ嗅ぎながらちよつとシコっただけで
すべぴゅっぴゅっしてしまっん??

おまんこの時より
早いとがちよつと引くわっ♡



それじゃあ最後は顔に足乗っけてあげるから
よ〜く吸い込んでぴゅ〜するんやで♡

(EVA)♡♡
ほら、ぴゅ〜♡

女の子の足のニオイに
負けていっぱいぴゅっぴゅ
しよなあ♡





うわゝめっっちゃ出とる♡
ニオイだけでもそんなに出るもんなんやね♡
流石は変態さんや♡

ちょうど座り込んでるし
そこのトイレットペーパーで
白いおもらし片付けといてな♡
いつも通りお金は
また明日よろしく♡

足のニオイが嗅ぎたいん？
おっぱいでもオマンコでも何でも出来るのに
そんなんがええんや？

まあええい。

ほら(♡)♡(♡)♡(♡)



うわ〜ちょっと嗅いだだけでピンピンちゃん♡
そんなに足のニオイが気に入ったん？

もう放課後やし
だいぶ蒸れてるのに
変態さんやね♡



もう金玉上がって来とるやん♡
足のニオイ嗅ぎながらちよっとシッコっただけで
すべぴゅっぴゅっしてしまっくん??

おまんこの時より
早いとがちよっと引くわっ♡



それじゃあ最後は顔に足乗っけてあげるから
よ〜く吸い込んでぴゅ〜するんやで♡

(EVA)♡♡♡
ほら、ぴゅ〜♡

女の子の足のニオイに
負けていっぱいぴゅっぴゅ
しよなあ♡





うわゝめっっちゃ出とる♡
ニオイだけでもそんなに出るもんなんやね♡
流石は変態さんや♡

ちょうど座り込んでるし
そこのトイレットペーパーで
白いおもらし片付けといてな♡
いつも通りお金は
また明日よろしく♡

足のニオイが嗅ぎたいん？
おっぱいでもオマンコでも何でも出来るのに
そんながええんや？

まあええい。

ほら(♡)♡(♡)♡(♡)



うわ〜ちょっと嗅いただけでピンピンちゃん♡
そんなに足のニオイが気に入ったん？

もう放課後やし
だいぶ蒸れてるのに
変態さんやね♡



ふふっ、ごめんって♡ええやん変態さんでも♡
女の子に足のニオイ嗅がせてもらいながら
きもちよ〜♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
ほら♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

うわっ手の動き早〜♡
こんなニオイでそんなに
興奮したんや?



もう金玉上がって来とるやん♡
足のニオイ嗅ぎながらちよっとシッコっただけで
すべぴゅっぴゅっしてしまっくん??

おまんこの時より
早いとがちよっと引くわっ♡



それじゃあ最後は顔に足乗っけてあげるから
よ〜く吸い込んでぴゅ〜するんやで♡

(EVA)♡♡
ほら、ぴゅ〜♡

女の子の足のニオイに
負けていっぱいぴゅっぴゅ
しよなあ♡





うわゝめっっちゃ出とる♡
ニオイだけでもそんなに出るもんなんやね♡
流石は変態さんや♡

ちようど座り込んでるし
そこのトイレットペーパーで
白いおもらし片付けといてな♡
いつも通りお金は
また明日よろしく♡

あはっ♡包茎さんやあ♡
なあ、これ剥いても
大丈夫なん？

それじゃあ
ゆ〜くり傷し〜ん♡
むきむきしよなあ♡

ほら♡
む〜き♡む〜き♡



亀さんのお出ましや〜♡
ピンク色で可愛らしいなあ♡

剥いただけなのに
びくんびくん震えて
やっぱり亀さんは
敏感やね♡





(おんー、おんおん♡)

うーん♡
やっぱりちよっぴ
臭うなあ♡

ちやんと剥いて
洗わないかんよ♡
ウチはくさしい
おちんちんも好き
やげどね♡



よっしや、
ウチにまがしとま♡

舌でおちんちん
きらいに、髪持ちよっし
♡してあげるなま♡



ん？先っぽから
お汁が垂れてきとるよっ♡
もうイヤさうなっ？

ええでっ♡
そのままお持ちよっ♡
びゅっびゅっしよなっ♡



ほら♡
ぴゅっぴゅっ♡

その調子やでっ♡
金玉に溜まった
ザーメンせ〜んぶ出して
スツキリしよなっ♡



お射精おつかれさま〜♡
たっぷり出たなあ♡
亀頭もぴっかぴかや♡

またおちんちんスツキリ
したくなったら
ウチに言ってなあ♡
楽しみに待ってるで〜♡



































































グググ♡





























































































グ
グ
グ
グ
グ





































































びしょ

ヒクッ

びしょ

ヒクッ

ヒクッ































































